

平成 27 年 5 月 27 日

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引継いで設立されました。
全国で約 3,600 万人、うち沖縄支部で約 53 万人の方が加入しています。

「おきなわ津梁ネットワーク」へご参加ください！

— 沖縄の健康長寿復活に向けた取り組み —

協会けんぽ沖縄支部では、県民のメタボリックシンドローム対策や糖尿病・脳卒中・急性心筋梗塞等の生活習慣病の重症化予防の有効な取り組みとして、「おきなわ津梁ネットワーク」への県民のみなさまの参加(登録)を推進しています。

「おきなわ津梁ネットワーク」は、65 歳未満の年齢調整死亡割合が全国ワースト 1 位を記録するなど、県民の健康が危ぶまれる状況を背景に、健康長寿復活に向けて平成 25 年 10 月よりスタートしたもので、県医師会を中心に、医療保険者(市町村国保、協会けんぽ沖縄支部)と医療機関が連携して取り組んでいます。

協会けんぽ沖縄支部では、健診結果で重症域と指摘された多くの方が医療機関を受療していない状況を踏まえ、かねてより未治療者へ対して、個別に文書や電話による受療勧奨(重症化予防事業)を行っていますが、受療勧奨を行うまでに約 6 ヶ月の期間を要していました。今後は、おきなわ津梁ネットワークを活用することで、受療状況をすぐに把握できるようになるため、早期に受療勧奨を行うことが可能となります。また、重症域の疾病とは別の疾病で参加医療機関を受療した際に、当該医療機関で重症域のデータを把握できるようになることから、重症域の疾病の治療等について、担当医師より直接指導することもできるようになります。

重症化予防事業では、対象者が受療勧奨後に医療機関を受療した場合の医療費削減効果額を、約 14 億円(平成 24 年度実施分)と試算しており、医療費適正化の面からもこの取り組みによる効果が期待されています。

その他にも、健診未受診者が風邪などで参加医療機関を受療した際、担当医師がおきなわ津梁ネットワークの健診未受診の情報を活用することで、患者様に対して直接受診勧奨を行えるようになることから、健診受診率の向上及び健診後の効果的な治療や保健指導等にも大いに寄与するものと考えております。

今後、上記などの保健事業を推進するうえで、おきなわ津梁ネットワークへの参加者拡大は極めて重要となりますが、平成 27 年 3 月末現在の登録件数は、登録者数 6,226 名、医療機関数 130 機関に留まっていることから、県民のみなさまの参加を広く呼びかけるとともに、さらなる普及促進に向けて県医師会・医療保険者・医療機関が連携し取り組んでまいります。

「おきなわ津梁ネットワーク」の普及促進に向けて、概要及び参加のメリット等につきまして、ぜひ各種報道等で取り扱っていただきますようよろしくお願いいたします。

※おきなわ津梁ネットワークとは・・・

「IT 医療連携システムを活用した、これからの地域医療のモデルとなる新しい取り組みです。患者様の受療歴や健診情報などのデータを、ネットワークを介して医療機関や医療保険者等で共有し、患者様への適切な治療や保健指導等に役立てるために構築されたシステムです。また、ネットワークに集積された各種データは、沖縄県の各疾病(糖尿病、脳卒中、急性心筋梗塞等)の対策事業にも活用されます。参加方法は、参加医療機関に「参加同意書」を提出するだけで、無料で登録することができます。

【添付資料】

・「平成 24 年度重症化予防事業実施による医療費削減効果の試算」

【お問い合わせ先】

〒900-8512 那覇市旭町 114-4

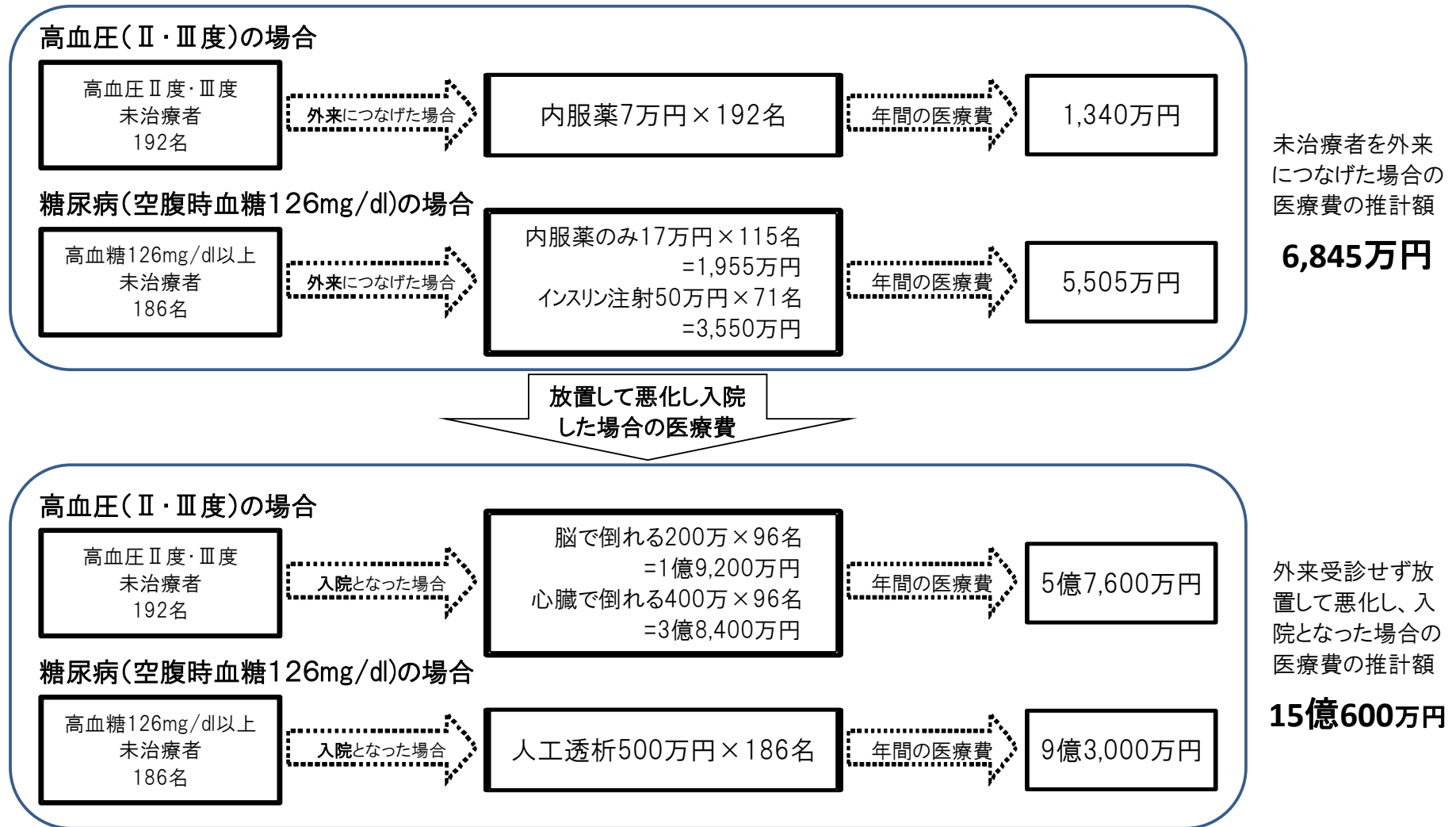
おきでん那覇ビル 8 階

全国健康保険協会沖縄支部 新垣・新里

TEL : 098-951-2246 FAX : 098-951-2295

■平成24年度重症化予防事業実施による医療費削減効果の試算

受診勧奨対象者(高血圧1,384名、高血糖1,129名)のうち、高血圧192名(13.9%)、高血糖186名(16.5%)が、勧奨後に医療機関を受診したときの試算



医療費適正化試算 $15億600万円 - 6,845万円 = 14億3,755万円$